



2022年1月31日

各 位

会社名 トーイン株式会社  
 代表者名 代表取締役会長 春 公明  
 兼 CEO  
 (コード番号 7923)  
 問合せ先 取締役 専務執行役員 坂戸 正朗  
 経営企画統括  
 電 話 03-5627-9111

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,600	100	60	10	1.99
今回修正予想(B)	11,400	△50	△10	△40	△7.95
増減額(B-A)	△200	△150	△70	△50	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	11,245	5	△72	118	23.56

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、第3四半期累計期間では、国内外とも包装資材事業において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が当初予想を上回ったことにより、特に化粧品分野の売上が当初計画に対して未達となりました。第4四半期の売上高も新型コロナウイルス変異株の感染急拡大を受け、個人消費等の回復にはなお時間を要することなどで前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、営業利益は、第3四半期累計期間では、売上高が当初計画を下回ったことに加え、原油価格高騰によるエネルギーコストの上昇や海外子会社において原材料価格が上昇したことなどで製造コストが増加し当初計画の利益を確保することができませんでした。第4四半期についても、上記のとおり個人消費等の回復が見込めないことによる売上高の減少に加え、原油価格が高値で推移すると予想されることなどで前回予想を下回る見込みとなりました。

また、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益についても、主に営業損失となったことを受け前回予想を下回る見込みとなりました。



なお、2022年3月期の配当金につきましては、2021年5月14日公表の配当予想額（期末配当金10円、年間配当金15円）に変更はありません。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しております。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上